



もとみや

# 議会だより

第3号

平成19年7月発行



## 国民健康保険税

夏本番（みずいろ公園）

旧町村の税率で据え置き

30議案を審議  
本宮小学校改修に着手 2P~

ここが聞きたい  
12議員が一般質問 6P~

18年度旧町村  
決算を認定 4P

声 -議会傍聴に行ってきました- 12P

6月定例会

# 本宮小学校第2校舎改修に着手

6月定例会（第3回本宮市議会定例会）は、市長から旧町村の平成18年度各種会計決算認定14件をはじめ、条例改正や各種会計の補正予算など30議案が、提出されました。

また、最終日には市長から追加議案2件と、議員発議3件が提出され、全てを原案どおり可決しました。

## 国民健康保険税率据え置きに

### 主な議案

国民健康保険特別会計補正予算

旧町村の前年度税率に据え置かれます

平成19年度の国民健康保険税については、合併初年度であり、被保険者の税負担をできるだけ抑えたいという考え方から、旧町村の税率を据え置いた不均一課税方式となります。

医療分の限度額は改正

地方税法の一部改正が行われたことにより、限度額が53万円から56万円に改正になります。

税率の統合は来年度以降に検討

合併による税率の統合については、今後、保険制度が大きく変わり、その影響が現段階では不透明なため、今後の医療費や制度改正の推移を見ながら、来年度以降、税率の統合に向けた取扱を検討します。

本宮小学校第2校舎改修工事

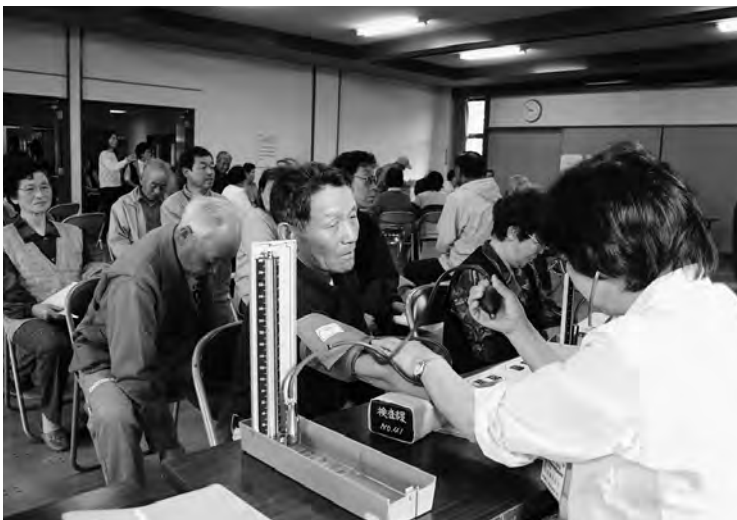
建築主体工事

契約者

石橋建設工業(株)

契約額

1億5千225万円



いつまでも健康で（総合検診）



改修が始まる本宮小学校第2校舎

電気設備工事

契約者

(株)本宮電気工業所

契約額

2千992万5千円

機械設備工事

契約者 (有)本宮設備

契約額

4千357万5千円

本宮堆肥センター指定  
管理者の指定について

現行の本宮堆肥センター管理者の指定期間が6月末で満了となるため、指定申請を検討した結果、みちのく安達農業協同組合を平成24年6月末までの5カ年間、指定管理者として指定するものです。

平成19年度一般会計補  
正予算(第1号)

平成19年度一般会計は、1千789万9千円を追加し、総額を100億1千789万9千円としました。  
今回の補正は新年度が始まって間もないことから、緊急性の高いものを補正したものであり、本宮診療所跡地に建設する複合施設整備事業の設計委託料等が計上されました。

補正の主なもの

- 複合施設整備事業に……………1,300万円
- 放課後子ども教室事業に……………83万円
- 商工振興事業に……………60万円



複合施設が建設される本宮診療所跡地

平成19年度一般会計補  
正予算(第2号)

平成16年5月に亡くなられた合併推進業務を担当していた旧本宮町職員が、このたび公務災害と認定する旨の裁定がなされました。  
市長は「市としても重く受け止め、お詫び申し上げます」と謝罪し、ご遺族への見舞金として補正予算計上となりました。

議員発議

本宮市議会委員会条例の一部を改正する条例制定  
本宮市議会会議規則の一部を改正する規則制定

議員の在任特例期間が7月末で終了することから、新たな24名の議員に対応するため、常任委員会の委員定数を見直すものです。

さらに、地方自治法の一部改正に伴い条例・規則を改正するものです。

人 事

農業委員会委員の推薦  
農業委員会等に関する法律及び本宮市農業委員会の選任による委員の議会推薦委員の定数に関する条例に基づき次の2人を推薦しました。  
遠藤義一氏 (青田字寄松)  
渡辺嘉彦氏 (長屋字平屋敷)



# 平成18年度旧町村決算審査

本宮方部学校給食センター協  
議会会計歳入歳出決算認定

平成18年度決算のうち、合併前の旧町村の平成18年4月から12月までの14会計の決算について審査しました。これらの決算は合併による特例的な決算のため、決算審査特別委員会を設置し、特別委員会の中に旧町村毎の小委員会を設置して審査し、その結果14件のいずれの会計も認定されました。

なお、本宮市の平成18年度決算は9月定例会で審査予定です。

## 決算概要

旧町村の決算は町村合併による9ヶ月間の年度途中での打ち切り決算であり、年間を通しての決算ではないため、前年度との比較ができません。

そのため、予算が適正に効率的に執行されているか、計数は正確であるか等について審査し、いずれの会計も原案のとおり認定されました。

決算審査特別委員会	
委員長	根本 善裕
副委員長	根本 藤美 佐々木広文
委員	議長を除く全議員 (33名)
旧本宮町決算審査特別小委員会	
委員長	根本 藤美
副委員長	島田 和夫
委員	旧本宮町議会議員
旧白沢村決算審査特別小委員会	
委員長	佐々木広文
副委員長	渡辺 嘉彦
委員	旧白沢村議会議員

## 認定された旧町村平成18年度各種会計決算 (単位：円)

会計名		歳入決算額	歳出決算額	
本宮町	一般会計	4,438,663,649	4,103,401,380	
	国民健康保険特別会計	1,501,192,800	1,349,863,672	
	老人保健特別会計	1,331,482,161	1,266,403,502	
	介護保険特別会計	(保険事業勘定)	693,850,905	640,352,128
		(介護サービス事業勘定)	1,282,997	1,132,092
	公共下水道事業特別会計	517,110,244	466,395,655	
	農業集落排水事業特別会計	33,645,488	23,466,122	
	工業用地造成事業特別会計	557,613,389	487,021,776	
	水道事業会計 (収益的収支)	643,034,328	244,633,535	
	水道事業会計 (資本的収支)	0	259,752,638	
白沢村	一般会計	3,293,293,340	2,986,553,402	
	国民健康保険特別会計	(事業勘定)	480,911,767	487,099,133
		(直営診療施設勘定)	70,763,035	79,330,368
	老人保健特別会計	607,691,848	604,370,223	
	介護保険特別会計	308,552,744	270,331,118	
	工業用地等造成事業特別会計	9,186,480	5,459,824	
	水道事業会計 (収益的収支)	285,464,611	100,728,231	
水道事業会計 (資本的収支)	26,437,000	41,770,291		

合併により本宮方部学校給食センター協議会が一旦解散し、その事務を幹事市の本市が承継したため、協議会の打ち切り決算を審査し、原案のとおり認定しました。

(審査は旧本宮町決算審査特別小委員会に付託)

# 常任委員会レポート

## 生活福祉



付託案件について審議

## 総務文教



白沢総合支所を調査

## 建設水道



水道水源を調査

## 産業商工



市内の誘致企業を調査

## 陳情文書表

平成19年 第3回 本宮市議会定例会提出

受理番号	受理年月日	付託委員会	件名及び要旨	提出者	審議結果
陳情第3号	5月31日	省略	日豪 EPA・FTA 交渉に対する陳情書	食とみどり、水を守る 福島県労農市民会議 議長 浦井信義 食とみどり、水を守る 福島県労農市民会議 議長 木村六朗	採択



協働のまちづくりへ（クリーンアップ作戦）

【本宮市経営の問題点を問う】  
 問 (1)本宮市の人口増を考える必要は。  
 (2)事業の見直しを行って行政のスリム化と効率化を図る必要は。  
 (3)「市民が主役」はどう進められるのか。  
 (4)「安全・安心のまちづくり」として、特に留意することは  
 【メリハリのある行政サ

【サービス提供に努める】  
 答 (1)民間による大規模な宅地開発の動向に注目しながら検討したい。  
 (2)行政評価を取り入れ、優先順位によるメリハリのある行政サービスの提供に努めたい。  
 (3)市民と行政の協力関係、協働のまちづくりを進めたい。  
 (4)市民の生命、財産を守る事が最優先。

【新市の教育行政は】  
 問 (1)教育長に職員を登用したねらいは。  
 (2)新教育長の教育目標と施策の主なもの。また、「人材の育成」はどう進められるのか。  
 (3)行政と市民が、「市の教育を語り合う会」を創設する考えはないか。

【新市基本計画の具体化に取り組む】  
 答 (1)豊富な行政経験を生かし、大所高所から教育行政に携わるため。  
 (2)次世代を担う人材育成のため、確かな学力と豊かな心、たくましい体力を育む学校を目指す。また、生涯学習環境整備も図りたい。  
 (3)教育委員会で充分検討していきたい。



### Q 本宮市経営の問題点を問う

A メリハリのある行政サービス提供に努める

二誠 美渥 議員



### Q 行政の在り方はいかに

A サービスを低下させず

スリムな行政組織に

渡辺 嘉彦 議員

【行政の在り方はいかに】  
 問 (1)合併による住民の不便性を解消しては  
 (2)窓口業務をもっと身近に設置しては  
 (3)地域振興会及び各種団体と職員との連携を図り、住みよい地域づくりの考えは。  
 【サービスを低下させずスリムな行政組織に】

答 (1)一部の業務を除き支所でも対応する体制を図っている。  
 (2)総合窓口サービスにより利便性向上を図っているが、公民館等への窓口業務導入は難しい。  
 (3)地域と行政のパイプ役であり、今後も連携を深め、住みよい地域づくりを目指す。

【農業行政について】  
 問 (1)市内遊休農地の利活用について市の考えは。  
 (2)バイオエタノール生産の取り組みの考えは。  
 (3)福舞里プラン事業の今後の方針は。  
 【人材の発掘、育成に努める】

答 (1)交付金活用による水田の転作作物作付奨励と畑への花卉や果樹の栽培普及を推進したい。  
 (2)多額の投資を要するため、研究の成果や採算性の検証を静観していく。  
 (3)事業内容を改めて精査しており、まとも次第、議会と協議したい。



スリムな行政組織に

【五百川駅周辺整備の見通しは】  
 通勤通学時には送迎車と歩行者が行き交い非常に危険な状態である、工業団地にも会社社が張り付き利用者も増えていることから早急に広場の整備と県道の歩道設置などを進めるべきと考えるが、また、荒井公民館北側の未舗装道路の整備計画は。

【県に対して積極的に要望していく】  
 平成16年度に五百川駅を核とした活性化懇談会を開催し、県に要望したが事業採択されなかった。今後、県に積極的に要望していく。未舗装道路については、種々検討しながら限られた財源の中で最大の効果を生む方法で舗装していく。

【各種事業の立ち上げには行政も議員も真剣に議論を】  
 高松山観光トイレの建設には疑問が残る。この観光トイレは14年に旧白沢村で建設されたが、当時どのような考えのもと3800万円ものトイレが必要とされ、建設されたものか。また、年間の維持管理費と負担者は。

【地域の要望で設置した】  
 生活の資質向上を求める地域要望と、当該地への年間入り込み客数約一万人の利便性向上を目的に設置した。  
 維持費については、電気、水道、浄化槽分を市が負担しており、年間55万円である。



Q

五百川駅周辺整備の見通しは

A 県に対して積極的に要望していく

英一 議員  
 分議 国



生活基盤の整備を

【入札制度改革の内容は】  
 制限付き一般競争入札の所在地要件の決定をするうえで、設計金額によるとあるが、その金額の基準は設けてあるのか。また、ランク別要件においても、市内の上位ランク業者の受注機会は減少することになるのでは。

【競争性を発揮させる】  
 原則は市内に本店があるものという考えであるが、競争性が発揮されない場合には段階的に所在地範囲を拡大するが、基準は設けない。Aランクの業者は国や県等の入札に参加できる機会が多いためということを加味したものである。

【予定価格の公表は】  
 請負工事数の制限は、一般競争入札の趣旨とは反するのではないかと。また、予定価格の事後公表は官製談合の疑惑を持たれるのではないかと。

【事後に公表する】  
 目的としては工事の品質の確保と、工事の円滑化を図ったものである。予定価格の公表については、制限付き一般競争入札の中では、ある程度業者数が限定されるので事後公表とした。



Q

入札制度改革の内容は

A 競争性を発揮させる

渡辺由紀雄  
 議員



整備が待たれる五百川駅前



整備はいつに

**【本宮市工場等立地促進奨励金は】**  
**問** 平成19年度の予算の中で、工業用地造成事業特別会計へ繰り出した本宮市工場等立地促進条例に基づく工場等立地奨励金6113万円の算出根拠は。

**【固定資産税相当額の減免】**  
**答** 条例の適用要件があり、その全項目に該当しないと申請はできないことになっている。  
 19年度分から3社が条例施行後初めて対象となり、土地、家屋、償却資産の固定資産税相当額が減免となったものであり、期間は3年間である。

**【館町地内の位置指定道路問題の進捗状況は】**  
**問** 本宮市館町地内（JR東北本線東側の県道接続）の位置指定道路は、関係戸数20数軒にも及ぶ袋小路であり、市においても問題を十分に認識し、解決のために努力をしていくが、その進捗状況は如何に。

**【市所有分の補修、舗装をしていく】**  
**答** 位置指定道路は個人の財産で、所有者が維持管理をする道路である。質間の道路の約50m区間は市の所有であり、補修を進めていく。地権者との交渉を進めるが、最悪であっても市の道路であればその分だけでも舗装はしていかなければならないと考える。



**Q 本宮市工場等立地促進奨励金は**  
**A 固定資産税相当額の減免**

川名正勝 議員



**Q 市民への説明は市長の言葉で**  
**A 自ら説明していく**

島田和夫 議員

**【市民への説明は市長の言葉で】**  
**問** 9月頃までに策定する財政計画は長期にわたる借金返済の道筋であり、市施策の中で上位計画として位置づけ策定すべきものと考えているが、また、財政計画は膨大な353億円負債返済が主になり市民の痛みも伴うため、市長の言葉で説明をすべきではないか。

**【自ら説明していく】**  
**答** 財政健全化なくして全ての計画は成り立たないという前提で考え、法的な縛りはあるが、最上位計画としての位置づけで策定にあたっては、住民サービスの維持を前提としているが、今後の懇談会では責任をもって説明していきたい。

**【合併すると専門的に対応できる】**  
**問** 合併の説明では、市になると職員も専門的に対応できる説明であったが、逆に専門職である学芸員は一般職にし、保育士は四割が臨時対応等と専門職軽視ではないか。専門職軽視ではないか。目に見えずに長期にわたる役目の文化や人を育てる専門職の充実こそが合併の目的だったのである。

**【財政状況を勘案した中で進めたい】**  
**答** 3万人強の市でありサービスの全体的なバランスを考えると専門性を持った職員も一般的な仕事を併せて行っている。保育所、幼稚園は運営上の厳しさから現状でやむを得ないが、クラス担任は正規雇用の確保をしていく。



専門職員の充実を



【福舞里プランはどのような】  
 答 遊休農地の活用と農村振興を図るこのプランは、旧白沢村の重点施策であり、また新本宮市の基本計画事業にもなっている。しかし19年度の予算もついでない。農業者も年々高齢化していくので少しでも早く具体的に動くべきでは。

【総合計画に反映させながら考えたい】  
 答 遊休農地解消は大事なことであり、市の大きな課題と認識し、庁内での議論をしながら協議を行っている。福舞里プランの理念を尊重し、市の総合計画に反映させながら取り組み、来年度には申請できるように対応したい。

【市道の改良、修繕を進めては】  
 答 陳情路線が77もあるが、なかなか予算がつけられない。修繕箇所もほとんど出でてくるが、進め方はどうなっているのか。受益者も協力すれば改良が進められる方法等、将来に希望もてる道路改良の方策を考えるべきでは。

【地域の実情を把握し、計画的に進めたい】  
 答 本年度は2路線の改良を事業化した。が、今後は地域格差のない道路行政推進のため、地域の実情を把握し、優先順位をつけて計画的な整備を図りたい。受益者負担による整備は、常任委員会からも意見が出されているので、これを真摯に受け止め検討していきたい。



Q

福舞里プランはどのような

A 総合計画に反映させながら考えたい

佐藤 孝昭  
藤 議



整備が進む中心市街地

【農業・工業・商業の振興はいかに】  
 答 新市基本計画に定める施策目標「基幹産業である農業の維持・高度化」「新規優良企業の立地促進」「にぎわいのある商店街の再生整備」を、市はどのような形で進めていくのか。

【市全体の均衡ある発展を目指す】  
 答 具体的な振興計画は総合計画の策定に着手したところであり、後継者や起業家等の人材育成、業を営む方と行政が視点を融合した協働の産業振興、地域の皆様が育てる産業と支え合う地域コミュニティの3つを積み重ね、活力あるふるさとづくりにつなげたい。

【農・工・商業の問題点を問う】  
 答 農業基盤の強化を図る必要があるが株式会社等の参入、集落営農の設立状況は。また、工場閉鎖による失業者のケアと、企業の連鎖倒産を防ぐ緊急融資などの救済措置は。さらに商業集積を図るための行政支援策は。

【農・工・商業の振興策に努力したい】  
 答 農業の法人化、株式会社等の参入は現在のところなく、集落営農は組織化に向け強化したい。失業者対策は県のサポートセンター活用等の支援を行う。新たな企業誘致は内部検討中である。商業状況は厳しいが地域との情報を密にしながら努力したい。



Q

農業・工業・商業の振興はいかに

A 市全体の均衡ある発展を目指す

柳原 邦男  
議 員



遊休農地の解消へ



小中学校への早期設置を

【小中学校にAED（自動体外式除細動器）を設置しては】

病気を持たない普通の子どもや若い人が比較的弱い衝撃であっても胸部に受けただけで、しかもあるタイミングでその衝撃が心臓に伝わった時、心室細動が発生して死に至る危険な状態になる。子供達の安心・安全のた

めAEDの設置をしては。

【計画的に設置していく】

市民の皆さんにAEDの効果を知っていただくことは大変重要であると認識している。

現在は市役所を含め八カ所の公共施設に配置しているが、今後は小中学校に計画的に設置していく。

【妊産婦に優しい環境づくりをしては】

見た目には妊婦だとわかりにくい妊娠初期など、近くでタバコを吸わないなど周囲の人に妊婦への配慮を求めマタニティイラストラップ事業を開始しては。

【妊婦への配慮を促す事業として取り組む】

妊産婦への配慮を促すマタニティマークについては、広報による啓発や母子健康手帳交付時に周知を図りたい。

マタニティイラストラップは安全で安心できる妊娠、出産を支援する為の重要なものと受け止め、より良い方法を検討したい。



**Q** 小中学校にAED（自動体外式除細動器）を設置しては

**A** 計画的に設置していく

川名 順子 議員



**Q** 市長のトップセールスは

**A** 積極的に行っていききたい

佐藤 正芳 議員

【市長のトップセールスは】

合併新法による合併は全国で初めてである本宮市の市長として、国・県へのトップセールスをどのように行う考えか。

本宮市が償還しなければならぬ残高353億円についてどのような認識を持っているのか。

【積極的に行っていききたい】

本宮・白沢地区の特産品、伝統芸能の全国への発信と企業誘致促進のため、国・県に対して、積極的にトップセールスを行うっていききたい。

債務残高を真摯に受け止め、知恵を結集し返済計画を組み立て、返済に誠意努力して参りたい。

【学力向上と道徳心の醸成は】

政府の教育再生会議は授業時間の10%増に向け土曜日授業を可能にし、道徳教育についても検定教科書と副読本を併用することを明記した最終案が決まったが、教育長の考えは。

【最終的報告を見極め取り組む】

教育再生会議の二次案の答申であり、詳細は今後定められるが、学力向上、道徳心の醸成は一番大切な柱であると考えており、今回の答申を重く受け止め、本市としての具体的な取り組みは最終的報告を見極めた中で考えていきたい。



伝統芸能を全国へ発信

【市内で働く勤労者の実態は】  
【答】 まじめに働いても生活保護水準以下の生活しかできない層が増え、経済格差が広がっている。本宮市内に働く勤労者の実態はどうか。正規非正規、パートなどの割合は。不定期雇用者に対する対策は。



**Q** 市内で働く勤労者の実態は  
**A** 勤労者が安心して働ける場を目指す

渡辺 忠夫  
議員

【勤労者が安心して働ける場を目指す】  
【答】 進出企業を対象に雇用実態調査を行ったが、非正規従業員数や給与実態の調査には、なかなか協力が得られない状況であった。競争社会になっているため格差はあると認識しているが、今後も勤労者が安心して働けるよう企業に対して働きかけていく。

【回覧をやめ各戸配布にできないか】  
【答】 本宮市の行政、行事など回覧になっているが、回覧では情報が正確に伝わらないと思う。特に共稼ぎ世帯などは目をとおすことが困難という声が寄せられている。各戸に配布するようにはできないか。

【情報伝達の基本は広報誌】  
【答】 市の情報伝達の基本は広報もとみやであるが、広報が間に合わない場合や緊急時には回覧としており、改めて防災無線やホームページで周知徹底を図っている。内容により回覧か各戸配布を判断しているが、行事申込み等の周知方法は、今後の検討課題としたい。



子育て世代への支援を

【人口減少は経済に影響があるのでは】  
【答】 1995年国の少子化対策がスタートして10年が経過し、施設の整備など目標は達成されたが、少子化には歯止めがかかっていない。この現状を市当局はどのようにとらえているのか。



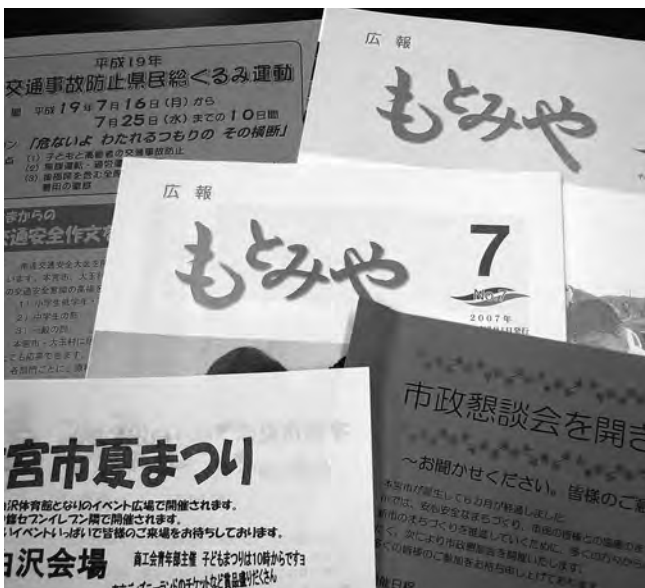
**Q** 人口減少は経済に影響があるのでは  
**A** 地理的優位性を人口増に生かす

伊藤 五郎  
議員

【地理的優位性を人口増に生かす】  
【答】 全国的に出生率減少に歯止めがかからない状況であるが、本市の持つポテンシャルは非常に高いものがあり、地理的優位性を今後の人口増の政策につなげていきたい。

【人口を増やす施策は】  
【答】 地域が人口減少に対応する人口争奪戦の政策を競う時代がやって来たと思われるが、市当局はどのように考えているのか。

【子育て支援等の総合的な施策を講じる】  
【答】 子育て支援等の総合的な施策を講じていく。子育ての両立が図られる環境の整備や経済的負担の軽減のため総合的な施策を講じたい。また、雇用環境の整備と、教育施設を含めた教育環境の整備も併せて進め、自然動態の減少抑制を図りたい。



市民と行政をつなぎます



6月定例会を傍聴された方は47人でした。  
 今回は、その中から本多宮さん（本宮字欠下）に傍聴の感想をお聞きしました。



本多 宮さん

本宮消費者グループの年間活動の中に議会傍聴が含まれました。たしかに私たちのささやかな活動も生活も市の活動に関係のないものはないですから、六月十四日の議会に出かけました。

案内係の方も親切で第一印象がとてもよいと思いました。議会が始まると質問用紙にそって議員の方の発言が行われまいた。要項がよく整理されているので聴いていてわかりやすかったです。市側の答弁も要項にそっているので無駄のない質問と答弁だったと思います。ただ、その後の討議の場を傍聴しないで帰宅するようにしたので、ぜひ次回傍聴したいと思っています。

本宮市の大事なことは、ここで議論され、決定され、実施に移されるのですから重要な場だと思います。その重要さを私たちが選んだ議員の方におまかせするだけでなく、年寄りも若い人も学生もみんな議会に関心を持ち、議会を育てて市を発展させる義務があると思いました。

議会広報特別委員会



- |              |               |             |             |             |             |             |             |
|--------------|---------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 委員長<br>渡辺由紀雄 | 副委員長<br>川名 正勝 | 委員<br>川名 順子 | 委員<br>遠藤 孝夫 | 委員<br>三瓶 五一 | 委員<br>古宮 忠重 | 委員<br>本多 勝春 | 委員<br>根本 善裕 |
|--------------|---------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|

あとがき

批判する。行動する。文を書く。議論が起きる。様々な意見が出る。  
 自分と同じような意見。正反対の意見。中立的な意見。それが議員である。  
 何も言わない。態度をはっきりさせない「沈黙は金、雄弁は銀」という西洋の諺がある。  
 これは旨い世渡りのコツであると思う。  
 議員は、沈黙では本来の職責が全うできない。市民の代弁者である批判し、行動し、議論をする、これが使命である。  
 「沈黙は金」は通用しない。これは執行者も議会も同じであろう。  
 (まさかつ)

議会を傍聴してみませんか。

9月定例会は9月上旬  
開会予定です

議会事務局

TEL 333-1111  
 (内線301)

